

このたび、下部消化管内視鏡（大腸カメラ）検査を受けるに当たり、

1. 目的と必要性
2. 検査前日および当日の注意事項
3. 検査後の注意点
4. 偶発症
5. 代替可能な検査

について説明を受け、納得いたしました。

同検査および治療の実施について同意いたします。

年 月 日

住所

氏名 (署名)

患者様が未成年である場合は親権者が、患者様が自分で記載できない場合は代理人がご署名ください。

緊急連絡先 (TEL) (続柄)

短期滞在手術等同意書

病名	大腸ポリープ
症状	便潜血陽性・血便・下痢・便秘・腹痛・腹部膨満感・便柱狭小 ポリペク後フォロー・潰瘍性大腸炎フォロー・()
治療計画	内視鏡的ポリープ粘膜切除術を行います。
手術等内容及び日程	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術
手術等後に起こりうる 症状とその際の対処	ときに出血、まれに穿孔があります。 その場合には内視鏡的止血術または縫縮術で対応します。 穿孔の場合には最終的に外科手術が必要になる場合があります。

大阪本町胃腸内視鏡クリニック

(主治医氏名) 藤田 実

私は、現在の疾病の診療に関して、上記の説明を受け、十分に理解した上で

短期滞在手術等を受けることに同意します。

(患者氏名)

大腸カメラ検査およびポリープ切除術

当日の下剤内服→自宅・来院

同日に胃カメラ→あり・なし

検査日時: 月 日 () 午前 時 分

検査の準備のため、 : にお越してください

裏面の同意書にご署名のうえご持参ください。

□事前に整腸剤を服用していただきます。

ビオフェルミン 3錠 分3 毎食後 7日前から

□便秘の方は、3日前より下記の薬を服用していただきます。

マグミット 3錠 分3 毎食後 3日前から

センノサイド 2錠 分1 眠前 3日前から

□抗凝固剤(血をサラサラにする薬)を服用されている方へ

ポリープ切除の際、出血のリスクがありますので

を 月 日から服用を中止してください。

※予約変更が必要な方は、検査当日までに当院にお電話ください。

検査当日のキャンセルや、予約時間に遅れられる場合は必ずご連絡ください。

(診察時間の関係上、検査ができないことがあります。)

□おおよその検査費用(保険適応 3割負担の場合)

大腸内視鏡検査	約 6,000 円
病理組織検査を施行した場合	+約 5,000~12,000 円
大腸ポリープ切除術を施行した場合	+約 20,000~25,000 円
合計	約 6,000~35,000 円
※胃カメラも同日に行なう場合	約 10,000~45,000 円
下剤注入法(薬剤料・モニター代)	(自費別途)3,300 円

※クレジットカードは5,000円以上のお会計のみご利用いただけます。

 大阪本町胃腸内視鏡クリニック

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町 2-2-5 イケマン堺筋ビル 3 階

TEL 06-6266-7140

【下部消化管内視鏡（大腸カメラ）検査・治療の説明書および同意書】

1. 目的と必要性

内視鏡を肛門から挿入し大腸をカメラで直接観察します。炎症、ポリープ、がんなどの異常がないかを調べます。異常を認めた場合、病変組織の一部を採取(生検)、ポリープ切除などの検査を行うことができます。

2. 検査前日および当日の注意事項

□検査前日

- 午後9時までに夕食(内容は右記参照)を済ませてください。
- 眠前に下剤(ピコスルファート液 10ml 1本)をコップ1杯の水に溶かして飲んでください。

□検査当日

- 朝は絶食です。

【ご自宅で下剤を飲まれる方】

- ご自宅で下剤(480ml)と水 1L を飲んでからご来院いただきます。(右ページ参照)
- 排便し、水のような状態になると検査の準備は完了です。予約時間にご来院ください。

【来院されて下剤を飲まれる方・下剤を飲まない大腸カメラの方】

- ご自宅で7:00に水 500mlを飲んでいただきます。
- 9:00にご来院いただきます。(水 500mlをご持参ください)
- 下剤(480ml)とご持参いただいた水 500mlを飲んでいただきます。
※「下剤を飲まない」大腸カメラの方は、麻酔を使った胃カメラと同時に下剤を注入します。
覚醒後に、ご持参いただいた水 500mlを飲んでいただきます。
- 排便し、水のような状態になると検査の準備は完了です。

- 検査着に着替えていただき鎮静剤や鎮痛剤の注射を行います。
- 検査を開始します。所要時間は 15～30 分程度の予定です。
- 検査後は休憩室で休んでいただいてから、検査結果を報告します。(12～13時前後の予定)

3. 検査後の注意点

- 検査当日は飲酒、車・バイク・自転車の運転は控えてください。
- ポリープ切除をした場合は、切除面からの出血のリスクがあるため、1週間は飲酒・ジョギングやジムなどの激しい運動は控えてください。

4. 偶発症

- 薬剤によるアレルギー、鎮静剤や鎮痛剤による呼吸状態の悪化や血圧低下、内視鏡による出血や穿孔(穴が開くこと)などが主な偶発症です。輸血や手術が必要となることがあります。
- 偶発症の発生確率は 1/8000 程度と稀ですが、症状によっては入院や手術が必要であったり、生命にかかわることもあります。万が一、偶発症が発生した場合は最善の処置および対応を行います。

5. 代替可能な検査

- 大腸の検査は、内視鏡検査以外に、バリウム用いた注腸検査や、大腸 CT 検査などがあります。しかし、これらの検査では異常を認めた場合に組織検査やポリープ切除はできません。

— 大腸カメラ検査を受ける方へ 事前準備のお願い —

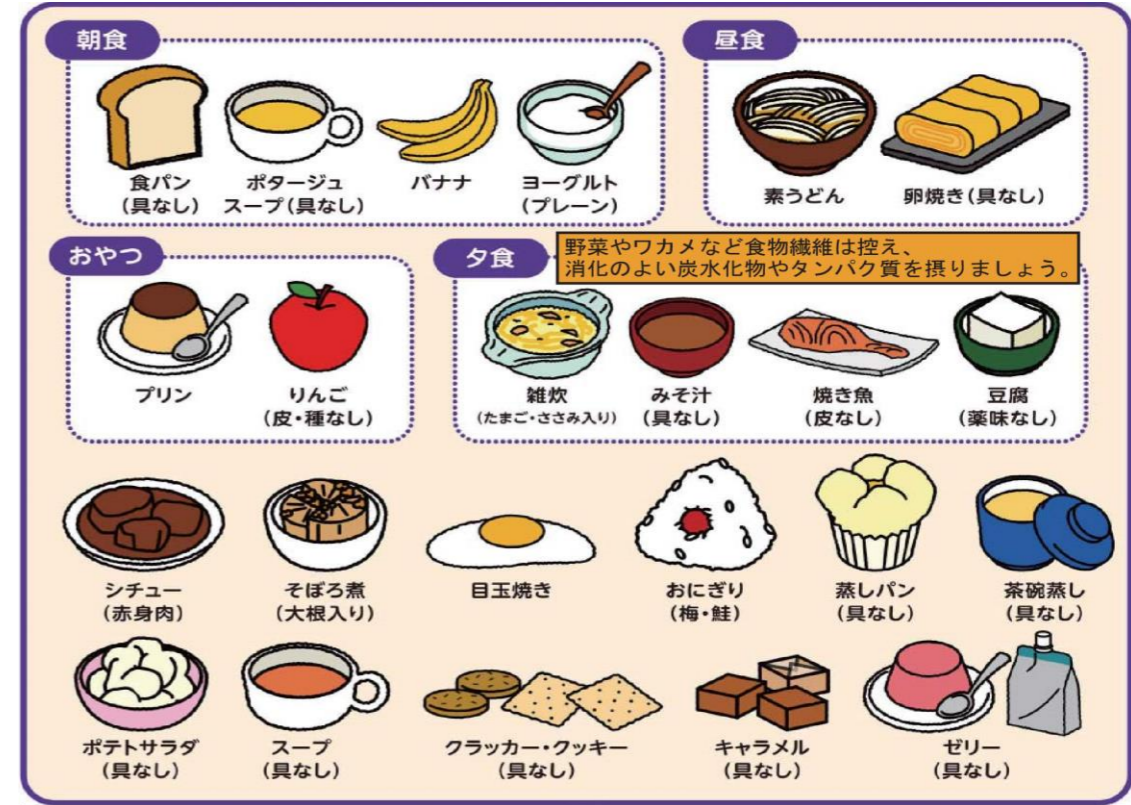
正確な検査を行うために、腸をきれいにさせていただきます。

繊維質の多いものは避けていただき、消化の良いものを摂っていただきます。

※事前準備をしっかりとしないと検査に時間を要したり、検査が受けられない場合もあります。

【検査前日 おすすめメニュー】

※水分は多めに摂ってください



【検査当日】

朝食は摂らないでください。(水は可)



ご自宅での下剤の内服方法

① サルプレップ(下剤)



7:00～7:30

→ 480mlを内服

② 水

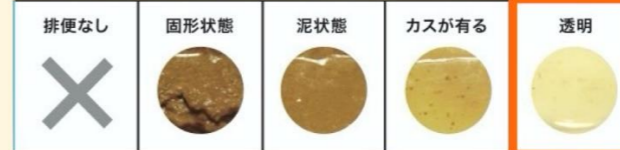


7:30～8:00

→ 1000mlを内服

※一気に内服せず
①②それぞれ30分かけて
内服します

排便ごとに、徐々に便が透明になります



便がほぼ透明になれば
OK!!